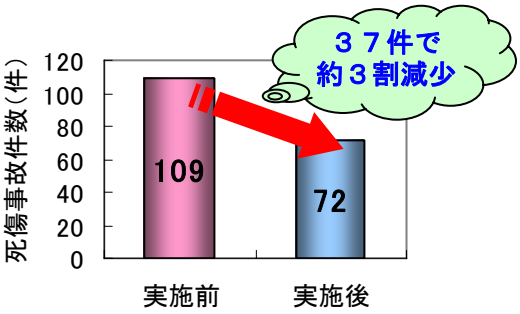
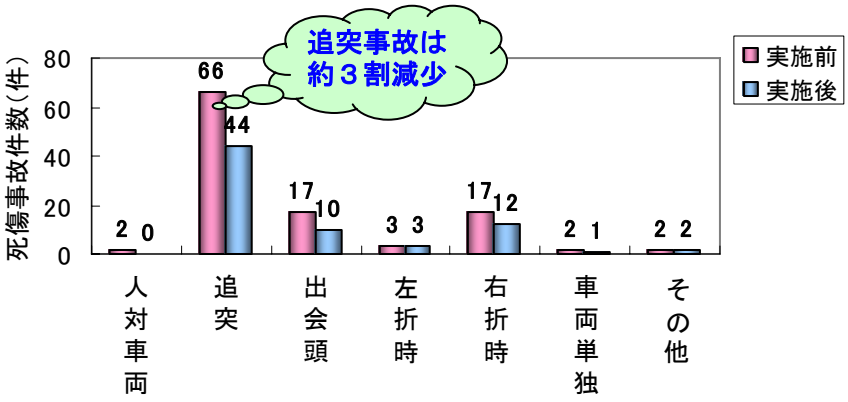
＜別紙－１＞

平成１８年度に実施した「緊急事故対策」により、実施前と比べて全体で約３割減少。

- 平成１８年の「緊急事故対策」実施箇所５５箇所全体では対策実施前の１０９件から７２件で３７件（約３割）減少。
- 事故発生の類型別の死傷事故件数について見ると、対策前に最も多い「追突」事故については、対策実施前と比べ６６件から４４件で２２件（約３割）減少。



▲対策実施箇所における交通事故発生状況

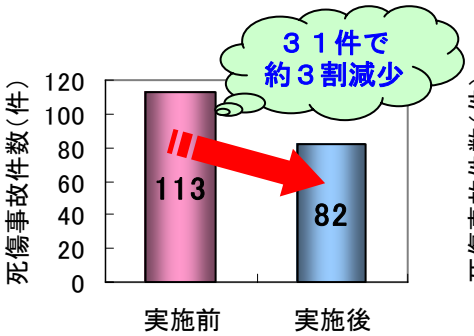


▲対策実施箇所における類型別交通事故発生状況

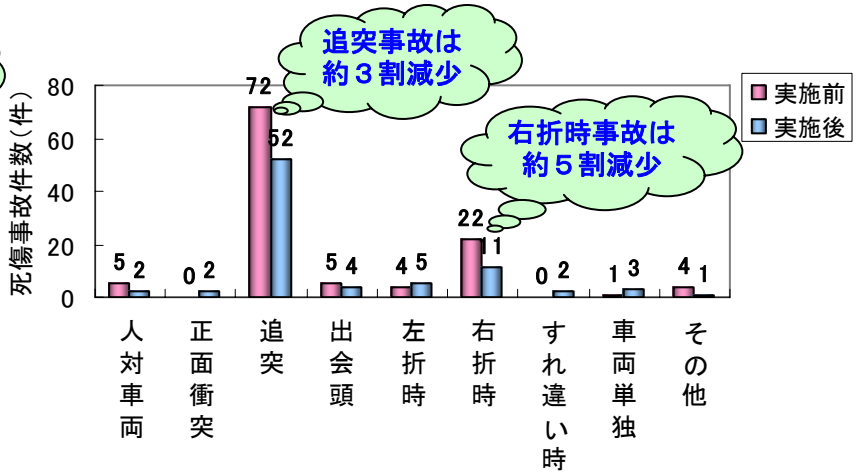
※対策は平成１８年４月に実施したため、平成１７年（実施前）と平成１８年（実施後）の５月～１０月までの６ヶ月データにより比較。

平成１７年度に実施した「緊急事故対策」により、実施前と比べて全体で約３割減少。

- 平成１７年に実施した「緊急事故対策」１０箇所では対策実施前の１１３件から８２件で３１件（約３割）減少。
- 事故発生の類型別の死傷事故件数について見ると、対策前に最も多い「追突」事故については、対策実施前と比べ７２件から５２件で２０件（約３割）減少し、「右折時」事故については２２件から１１件で１１件（約５割）減少。



▲対策実施箇所における交通事故発生状況



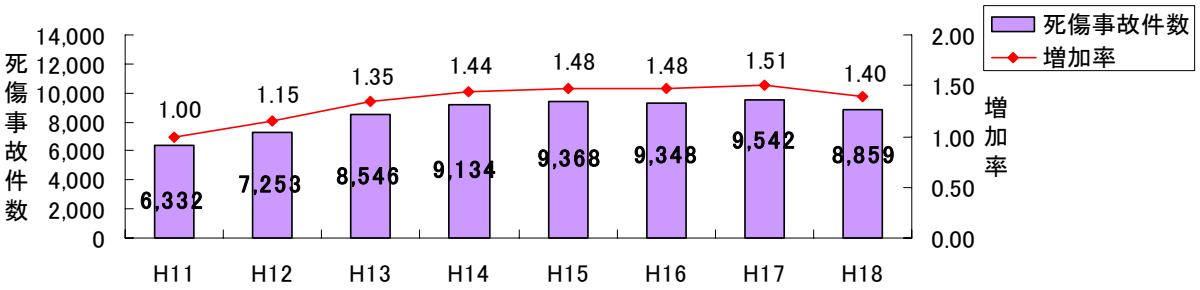
▲対策実施箇所における類型別交通事故発生状況

※対策は平成１７年４月に実施したため、整備前後の１年間データにより比較。（H16.5～H17.4とH17.5～H18.4間での比較）

【県内における事故発生状況】

・ 山形県内全域における交通事故は、平成１１年から年々増加し、平成１７年のピーク時では約１万件の交通事故が発生している。

・ 平成１８年は減少したものの、依然約９千件の交通事故が発生している。

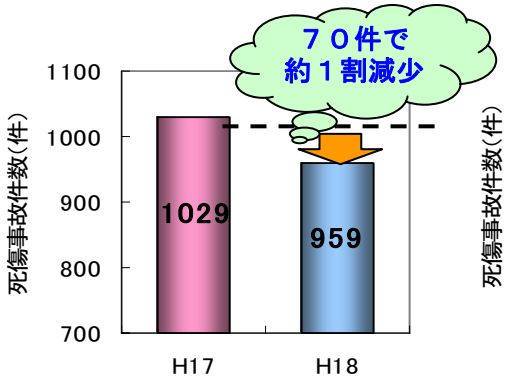


▲山形県内の交通事故発生状況

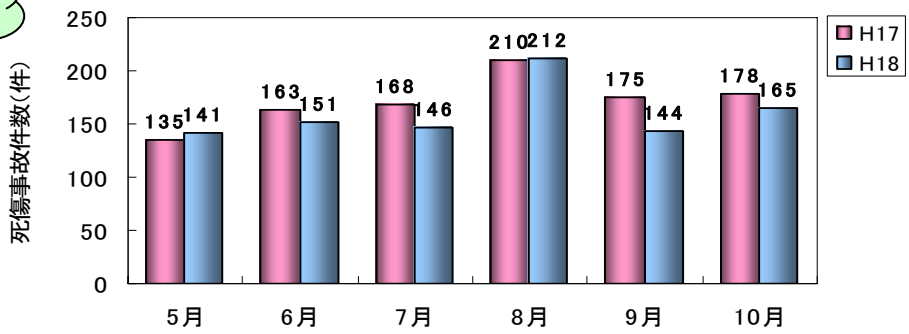
資料：山形県警察

【直轄国道における事故の発生状況（参考）】

・直轄国道における平成１７年と平成１８年の６か月間の事故状況では約１割減少し、月別では５月と８月を除く全ての月で減少。



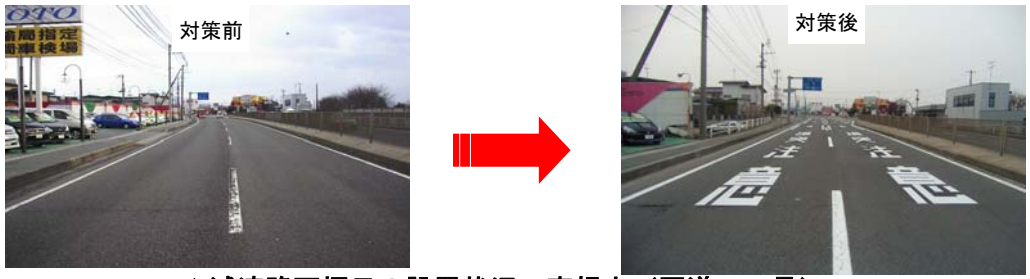
▲直轄国道における交通事故発生状況



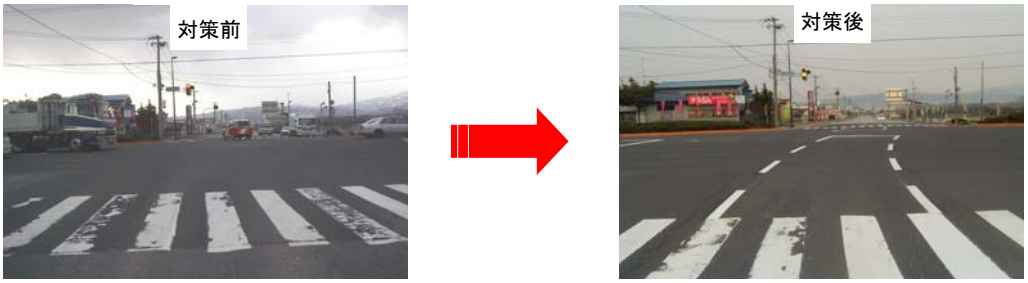
▲直轄国道における月別交通事故発生状況（5 月～10 月）

資料：山形県警察

【実施した主な対策】



▲減速路面標示の設置状況　東根市（国道１３号）



▲右折導流標示の設置状況　東根市（国道１３号）